

# 認定NPO法人 日本ミャンマー豊友会

JAPAN & MYANMAR ASPIRATION HOYU ASSOCIATE



## 令和元年度（第11期）事業報告書 令和2年度（第12期）事業計画書（案）

令和2年6月4日  
第11回通常社員総会



### 設立趣旨書

この法人は、「日本とミャンマーの子供たちの未来のために」を活動理念に掲げ、子供たちが共生共存できる、豊かで平和な世界の実現を目指し設立されました。

現在の日本の子供たちが、夢と希望をなくし、閉鎖状況の中で個人主義に走る現状を憂い、ミャンマーの子供たちを通して、心の豊かさとは何かを考えてゆきます。またミャンマーの子供たちには、勤勉に努力して技術や心を磨いてゆく日本人の古来のものの考え方を伝えてゆきます。両者の交流を通じて、人間ひとりひとりの幸せを大切に考えて行動できる、品性豊かな国際人創りを支援

してゆきます。

令和2年6月4日

認定NPO法人 日本ミャンマー豊友会

設立代表者 近藤 秀二

## 令和年度事業を終わるにあたって

先期も2月のスタディーツアーをもって終了いたしました。

11期からは所轄が財務から県に移りました。厳しいチェックを受け、認定法人としての許可を再度取得することが出来ました。

また日本国内ではNPOであります。現地ミャンマーではNGOのJAMAHAです。現地政府から英語バージョンでの会計報告を求められておりますので、水城会計事務所さんの御協力を経て提出させていただきました。が、相手国の締め切りをオーバーしてしまい、現在資格の再取得を目指して相手の官庁と交渉中であります。



## 令和元年度事業活動報告

### 1. 子供の健全育成をはかる事業

#### ① 保育園建設支援

a) 2019年11月 シャン州Pin Moon村 保育園1棟

対象園児数 163人 建設費用 10,500,000kyat

ドナー 岩田光義・孝子御夫妻

b) 2020年2月 シャン州Lae Kyar村 保育園1棟

対象園児数 100人 建設費用 11,113,280kyat

ドナー 和歌山南ロータリークラブ様

#### ② 保育園メンテナンス調査

今期はシャン州のPAO民族自治区に保育園の建設寄贈支援活動を始めて11年になるので、支援が適切であったか？修理箇所が発生していないか？保育園運営上必要なものがないか？

等の調査旅行を、和田理事とZOWMIN氏、現地NGOの会長さんと担当4人で実施した。

その結果、多くの保育園で、開園当初に寄贈したピアノが壊れ使い物になっていないので、新しいものが必要とのことであった。又園庭に遊具が欲しいというような要望などが出された。

なお先期創作紙芝居「ポリアンナ」を日緬両国語で制作し、保育園に配布しました。

#### ③ そろばん授業の進展チェック。

2018年、開園式後隣接の小学校の先生を中心にそろばんを紹介し、用具一式を寄贈してきたタマイエデュケーションの社員さんたち5名が参加して特別授業を行い、会得してもらった。

引き続き今後も継続的に授業をするために、参画したいとのことだった。

#### ④奨学金支援

- ① トンテ孤児院 日本語教育のための講師派遣
- ② トンテ孤児院 大学生のための「あしながおじさん」型給付型奨学金支援
- ③ 共通一次試験（大学入学試験）のための塾費用

現地ミャンマーにおける事業の方は、二つのPAOの村落に二つの保育園幼稚園建設を支援させていただきました。建設資材の購入金額の支援以外に、日本の教育ソフト、紙芝居や楽器ピアノを皆様のご協力で寄付させていただいております。日本の紙芝居を「舞台」とともにビルマ語に翻訳し、オルガンの代わりにピアノを贈呈し、日本との交流のシンボルとして鯉のぼりを園舎の前に泳がせています。昨年度からの小学校の教育要領の変更（日本の文部省がJICAの協力で6年制と主要四科目以外の三教科も追加）に伴い、小中学校の校庭内に、プレスクールとしての幼稚園の建設、発足が始まりました。その規格が従来の保育所よりも大きくなり40坪強となりつつありますので、建設費は大幅に増加してまいりましたが、最大材料費の85%までの支援という点は崩しておりませんので、村の建設委員会側は不足分を調達しています。文部省の指導どおりに造れば、開園後の保母さんたちの給与の大部分が補助されるということで、村落自立委員会側のランニングコスト(保母さんの給与)が助かるからです。

今期でシャン州のPAO族の村に21カ所（他地区に4カ所）「無認可保育所」を作ってきたので、タウンジーのPAOの事務所に保母さんを集めて運営上の諸問題やノウハウの共有を試みる研修会を日本から杉本講師をお招きして開催しました。来季から新しい支援地域を設定するかどうかで、チン州のミンタ方面に調査旅行もかけました。

一昨年来孤児院の職業訓練室はトンテの孤児院で洋裁教室を試み、ドーピンの孤児院でパソコン教室の開催をしておりました。しかし現在は中断しております。

返済型の奨学金制度は5年にわたって積み上げた300万円の基金を中心に回っておりますが、今期から給付型も並行して開始いたしました。いわゆる「あしながおじさん」タイプです。

トンテの通信大学生9人27万円（1年間3万円、4年制12万円：今季0人）の給付となります。又、今期の新入学生は9月に報告が来ます。先般の豊友会の皆様には36万円のご浄財をご寄附いただきました。

今後はできるだけ写真や将来の希望を観ながら会員の皆様に決めていただき大学の学費をもっぱらとし、4年12万円のご寄付をお願いしてまいりたいと存じます。ただし孤児院の生徒の、日本語4級進級テスト（N4）の試験代と交通費は制度化してゆくつもりです。2級までは無料で教えてくださる日本語学校があるので、会員の皆様の採用の為に有用ではないかと考える次第です。

## 2. PAO職業訓練所の支援活動

昨年11月のスタディーツアーの帰途、PAO少数民族区のNPO組織パラミの総予算2000万（日本円相当）で建設途中の施設を見学し、その志と今後の運営方針をお聞きしてまいりました。私どもも異業種交流会を母体として出発しておりますので、大変興味深くお聞きいたしました。予想外のことがおきて、あるいは工事が遅延して総予算が足らなくなり、工事中断のやむなきに至っておりますが、あと300万円相当で完成にこぎつけられるということでしたので、職業訓練所設立用に別途積立金として用意しておりましたなかか

ら、理事会承認をいただき、年度末までの支出いたしました。現在3階の天井を張るだけという段階に至っています。今後の支援方法は今期の方針に提案させていただきます。

### 3. インレイ湖畔環境保全事業

インレイ湖東岸Maing Thauk村にてゴミ焼却炉稼働率向上の指導及びゴミ分別教育の実施  
インレイ湖畔で展開していたゴミ拾い活動の支援から始まった環境美化活動、教育は40か所のゴミ箱の設置から、りそな財団の支援をいただきながらの焼却炉設置それに伴うゴミの分別収集資料等の提供を続けてまいりましたが、村人の分別作業の混乱が尾を引いており、再構築が必要な状況です。

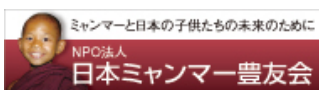
11月にチェックしたところゴミ箱自体も見当たらず、焼却機の運転もボランティアの方が子供に手伝わせながら週一程度の野焼きをしているような状態で、重油代や若干の手当等を予備費から6万円支出しました。

### 4. 国際交流支援事業

2019年12月 ヤンゴン 国立チーミンダイン盲学校にて、ミャンマーにおける視覚障害者のマッサージ施術の制度化について福祉省、保健省、同校教員との合同会議に参加しました。

同時に2020年3月開催予定の視覚障害者国際セミナーの内容を専門部位の治療方法と治療者としての心構え、マナー等を演題として開催することに決定しました。又担当者の役割等については随時メール等で連絡をしていくことを共有してきました。

2020年3月、例年開催している視覚障害者自立支援事業としての、マッサージ全国セミナーの開催は新型コロナウイルスの影響のため中止となりました。



## 令和元年度総会/理事会開催報告

### 31年度 総会・理事会の開催 議事録

	日程	参加人数	場所	目的	議案
1	2019/5/25	8	邦和セミナー	理事会	1. 定款変更 2. 特定資産(積立)について
2	2019/5/25	8	邦和セミナー	総会	1. 平成30年度事業報告承認 2. 令和元年度事業計画案 承認 3. 特定資産(積立)について 4. 理事1名 5. 定款変更
3	2019/12/18	7	今池ハートメデカル 会議室	理事会	1. 第31,32回ST報告

4	2020/3/20	7	今池ハートメデカル 会議室	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 既設保育園巡回報告</li> <li>2. 33回スタディーツアー報告</li> <li>3. 「あしながおじさん」の活動報告</li> <li>4. PAO職業訓練所への支援</li> </ul>
---	-----------	---	------------------	-----	---

**特定非営利活動に係る事業会計借対照表**





## 非営利活動に係る事業会計収支計算書

特定非営利活動法人 日本ミャンマー豊友会

[税込] (単位: 円)

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

### 《経常収支の部》

#### [経常収支の部]

##### 【経常収入】

正会員会費収入	920,000	
賛助会員会費収入	0	
寄付金収入	4,969,624	
受取利息収入	63	
経常収入 計		5,889,687

##### 【事業費】

地球環境保全事業	60,000	
子供達の健全育成支援事業	5,481,583	
国際協力支援事業	700,000	
事業費 計		6,241,583

##### 【管理費】

広告宣伝費	120,000	
通信費	28,452	
事務費	180,439	
雑費	4,946	
管理費 計		333,837
経常支出計		6,575,420
経常収支差額		△ 685,733

#### [その他資金収支の部]

##### 【その他資金収入】

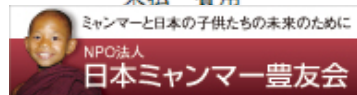
その他資金収入 計		0
-----------	--	---

##### 【その他資金支出】

為替差益	8,130	
その他資金支出 計		8,130
当期収支差額		△ 693,863
前期繰越収支差額		14,283,431
次期繰越収支差額		13,589,568

#### 未払 費用

0



0

0

#### 正味財産

13,589,568

及びその影響。取組内容は主にミャンマーの少数民族ハイチン族の生活・生活困窮性削減を目的とした。だんだん村民総出で賑やかに開園式が行われるようになり、スタディーツアーの参加者は感動しております。次項に今年度の3本柱の基本方針を列挙いたします。ただご承知のように世界的

に新型コロナウイルス感染症で諸活動が止まっております。再開時期によっては活動の時期が年度半分しかないという状況や、組み上げた予算に充当する十分な寄付金を集めることができない状況に立ちいたる恐れもあります。事業を絞り込んでおこなうてはなりません。



## 令和2年度事業活動 重点指針

### 1. 既存保育園に対する教材寄贈および修復改造作業

2018年の新入生からミャンマーの教育制度が新しくなり、主要4科目+音楽体育図工が加わりました。JICAを通して日本の文部省の日本型教育制度が導入されたわけです。したがって幼稚園もプレスクールとして位置づけられ、40坪ほどの大型化が一般的になりつつあります。保育園、幼稚園の寄贈がみなさんに大変わかりやすく、引き続きこの路線を維持したいと考えておりますが、今期は世界中の国々が新型コロナウイルスに汚染され、身動きが取れず、活動時間が制約されてきます。したがって実際的には今年2月の調査の基づく、既設の保育園の改修、補修工事になるかと思えます。また開園時に贈呈したピアノや紙芝居の追加等ソフトの提供が待たれています。

### 2. 孤児達の就職支援活動

実習生制度、留学生制度が曲がり角にきています。実習生制度は逃亡者の問題、留学生制度は隠れ就業者で学校が制度をあえて曲げているという観点から、留学ビザの交付率は東京入管局で一昨年は20%以下になったと言われております。今期はコロナの終息次第ですが、来日を促すことはむづかしいのではないかと思います。

孤児院の孤児の就職支援として、PAO民族が開所する職業訓練所を活用させていただこうと考えております。来期以降を見据えて、職業訓練所でも日本語教育も行なってゆきます。トンテ孤児院ではパソコン教室や併せて在ミャンマーの日本企業に就職をお願いしてゆきます。

### 3. 奨学金貸し付け及び給付型奨学金

給付型に転換するに際し、財源が問題であることは一目瞭然です。ひとりの支給者と一人の受給者をマッチングさせ、「あしながおじさん」として末永く支援してくださる仕組みにしてゆきたいと存じます。その一方財源確保のための収益事業を見つけ出してゆかねばなりません。環境破壊防止や地元雇用などの効果効用も併せ持つことのできるプロジェクトができればと考えております。あらまは6の新しい活動欄に記載しています。

### 4. 居住区の環境美化活動支援

ゴミ拾い活動の支援から始まったマインタック村の環境美化活動については、皆様もご存知のようにゴミ箱の設置から小型の焼成機の寄贈、試運転から二人の常雇も含めてテイクオフしたかのように見えました。ゴミの分別収集という点で村人の方々は慣れないために、様々な問題が発生し現在で仕切り直しであります。できれば村落共同体のごみ処理のモデルとして実稼動にこぎつけていきたいものだと思っております。ゴミの仕分けで問題になっている問題をもう一度整理し、今年度は仮予算として12万円計上（重油代、バイト代）予定です。

### 5. 視覚障がい者支援活動

先期はコロナ問題で残念ながら中止した、視覚障害者の全国セミナー（ヤンゴン、ザガイン）を開催いたします。視覚障害者が質の高い医療マッサージを習得することにより、彼らが高い治



療効果を提供することと合わせてマッサージ師としてのマナーを身に着けることで、視覚障害者の自立度のアップを更に社会に表現できることを目指しています。

## 6. 新しい活動

### 1、就学困難な子らに給付型奨学金制度を確立（トンテ孤児院で実験中）

#### ① 趣 旨

経済的に困難な状況にある低所得の子どもたちに対して、安心して学ぶことができるよう費用の一部を支援する給付型奨学金制度を構築し、貧しいが能力があり向上心が高い子どもたちの進学、海外留学等を後押しすることを目的とします。

#### ② 資格要件、対象者

孤児院や、少数民族の貧しい村で生活する子どもたちを対象とし、経済的に進学あるいは海外留学が困難な状況にある学生。

日本語能力を身に着けるとともに将来的にミャンマーにおける日系法人あるいは日本における法人で働く意欲があること また、対象者は、孤児院や村落の組合が選定し、JAMAHAが決定する。

#### ○分類

##### ①進学（高校・大学）

##### ②海外留学（留学・技能研修生）いずれも対象とする。

##### ③職業訓練所訓練生

##### ④セーダン試験の準備のために塾に通う経費および塾代

##### ⑤日本語学習者の塾経費

#### ③ 奨学金の種類

返済義務のない給付型

本人の自立支援を前提として、支給時期は入学時あるいは留学時とする。

#### ④ 基金設立

##### ①目的

上記奨学金制度を運営するために、必要金額基金を設立する。また、日本からの寄付を原資とし、対象者に必要な額を基金より拠出する。

##### ②運営

基金の運営は、JAMAHAが実施し、対象者への拠出は、所属団体経由で行う。

##### ③原資（寄付）

当初は基金より拠出するが、軌道に乗り次第、寄付者の好意が図りやすいように、相手を特定する奨学金とする。（里親制度参考）

特定の支給者に特定の個人が「あしながおじさん」となる。持続的な交流が続くことが望ましい。

##### ④ 拠出金額

分類によって、あるいは対象者によって事情が異なるため、今後JAMAHAとミャンマー側の団体が協議の上決定する。

##### ⑤ 時期

すでに実施はしているが、2020年秋ごろから本格的に開始。

#### ⑤ その他

上記分類に当てはまらないが、特別に認めたものについては基金から就職支度金として拠出する

ことができるように検討する。

就職支度金の内容は、就職のための交通費、就職に必要な生活物品の購入費等とする。

## 2、組織メンバーの強化

リピーターの皆さんに入会していただくと同時に、活動していただけるよう、担当別理事別委員会を構成し、組織的活動に入る。メンバーとしては学生さん、ご婦人に働きかけをしてゆく。

写真展や講演会を積極的に展開し、興味を持つ団体個人と接触してゆくこと。

魅力的なホームページとは何かを研究してゆくこと。

## 3、財政の問題

在ミャンマーの日本企業に寄付金をお願いすると同時に入会していただく。

ミャンマー進出を狙う企業さんに情報提供を積極的にするように活動する。

個別の案件をクラウドファンディングで実施してみる。事務局の活動費は年会費を使わせていただき、特定事業はスポンサーを積極的に探してゆく。

りそな財団やSMB Cのような団体が支援してくださったことを分析し、積極的にアプローチする。

## 4、会費の変更

正会員、賛助会員の会費を統一して年会費5000円とする。



## 令和2年度事業活動 収支計画

### 収入の部

前年度繰越金（積立金含む） 1 3 5 9万円

会費収入 7 0万円

寄付金 4 8 0万円

公的扶助 1 0 0万円

小計 2 0 0 9万円

### 支出の部

職業訓練所講座開設支援金 1 0 0万円

幼稚園保育園改修支援金 1 0 0万円

幼稚園保育園ソフト強化支援 1 0 0万円

給付型新奨学金基金 1 0 0万円

孤児院の職業訓練事業 1 0 0万円

視覚障害者の自立支援事業 1 0 0万円

環境美化活動支援金 2 0万円

国内事業(写真展、講演会等) 5 0万円

予備費 5 0万円

雑費 3 0万円

次年度繰越金 1 2 5 9万円

小計 2 0 0 9万円



**主たる事務所**

〒497-0004 愛知県あま市七宝町桂親田2027 (株式会社タケダ内)

TEL052-443-9907 FAX : 052-444-2227

**ヤンゴン事務所**

NGO代表 NI HTWE

No.35/A,Boe Yar Zar Street Kyakkone Yankin Township Yangon Myanmar